

早わかり 駿府城

? 駿府城 - 築城から埋め立てまで -

天守・天守台の存続期間

略年表

大改修前の天正期駿府城についてほとんどわかっていません

- 天正 13(1585)年 7月 徳川家康 築城開始 築城 1回目
- 天正 14(1586)年 家康が浜松城から移る
- 天正 16(1588)年 5月 駿府城天守完成
- 天正 18(1590)年 8月 家康が江戸へ
- 慶長 6(1601)年 中村一氏(豊臣方武將)が城主になる
- 慶長 12(1607)年 内藤信成(徳川一門)が城主になる
- 慶長 14(1609)年 2月 全国の大名に負担を命じる天下普請による大改修開始 築城 2回目
- 慶長 15(1610)年 7月 家康が移り住む、天守台完成
- 慶長 15(1610)年 12月 天守焼失(建設途中か)
- 慶長 14(1609)年 徳川頼宣(家康の子)が城主になる
- 慶長 15(1610)年 天守完成
- 元和 2(1616)年 家康が駿府城で亡くなる
- 寛永 元(1624)年 徳川忠長(家康の孫)が城主になる
- 寛永 9(1632)年 忠長が所領没収される。
- 寛永 12(1635)年 これ以降城主不在となり、幕府の直轄地として江戸から来た役人が管理
- 寛永 12(1635)年 城外の火事が引火、天守・櫓等焼失
- 寛永 15(1638)年 御殿・櫓など再建する(天守再建せず)
- 宝永 4(1707)年 宝永地震により石垣・建物被害
- 宝永 5(1708)年 修復工事を行う
- 安政 元(1854)年 安政地震により城内の建物ほぼ全壊
- 安政 4(1857)年 修復工事を行う
- 明治 3(1870)年 城門など建物の払下げ、取壊し開始
- 明治 29(1896)年 陸軍歩兵連隊設置に伴い天守台取壊し・本丸堀埋立

28年

地震の度に崩れて修復

関連施設案内



アクセス

〒420-0855
静岡市葵区駿府城公園 1-1

JR 静岡駅より徒歩約 15分
新静岡駅より 徒歩約 12分
東名高速道路静岡 IC より
車で約 17分
新東名高速道路新静岡 IC より
車で約 18分
(Google マップによる)

施設利用案内

- 【料金】 発掘情報館 きゃっしる 入場無料
- | | | | | |
|--------|---------|--------|----------|---------|
| 東御門・巽櫓 | 大人 200円 | 小人 50円 | } 3施設共通券 | |
| 坤櫓 | 大人 100円 | 小人 50円 | | 大人 360円 |
| 紅葉山庭園 | 大人 150円 | 小人 50円 | | 小人 120円 |
- 【開館時間】 9時～16時30分(入場は16時まで)
- 【休館日】 発掘情報館 きゃっしる 年末年始(12/29から1/3まで)
ほか3施設 月曜日(休日・祝日の場合は休館振替無しで営業)、年末年始
- 【お問い合わせ】 歴史・発掘 静岡市歴史文化課 054-221-1085
その他 二の丸施設管理事務所 054-251-0016

すんぷじょうあとてんしゅだい

駿 府城跡天守台

はっくつちょうさ

発 掘調査

N A V I



? 天守はなぜ江戸時代の初めになくなったのか

明治時代に廃城になるまで、火事や地震で被災する度に天守台や他の建物は再建されたのに対し、寛永12(1635)年以降天守が再建されることはありませんでした。これは徳川家による江戸幕府の体制が盤石なものとなり、戦や権威のシンボルであった天守が必要ない、天下泰平の世になったことを示すと考えられています。

? 現在の駿府城

駿府城には三重の堀がありましたが、市街地化などによって埋め立てられ、幅が狭くなりました。現在では二ノ丸堀(中堀)より内側が駿府城公園となっており、宝暦年間(1751～1763)の修復記録に基づいて、東御門や巽櫓などが復元・公開されています。

静岡市歴史文化課